



ゲットだぜ☆

日吉台小学校
1年 学年通信
2024 (令和6)
2月7日 No.28



クッキング大根もち

生活科では、育てた大根の生長を喜び、友達と関わり合って、簡単なクッキングをすることを目的に、大根もち作りを行いました。クッキングの計画を立てる話し合いでは、「楽しみ〜」「先生たちにも食べてほしい。」「家族にも持って帰りたい。」「全校のみんなにあげたいな。」「やけどしないように気を付けたい。」「グループで協力するぞ。」と、わくわくした様子で伝える姿がありました。

材料を混ぜ、ホットプレートにのせて、ひっくり返したり、食べた後の道具を洗って片付けたり、楽しみながらクッキングをすることができました。



きょうは、大こんもちをつくりました。つくりかたは、ハムとネギをきって、大こんとまぜてつくりまます。

小川 りく

わたしは、クッキングがたのしかったです。みんなでそだてた大こんなので、しっかりつくりました。うまくなってきたので、とってもうれしかったです。

おごえ めい

わたしは、つくるもののがたのしかったし、大こんがとろとろでおいしかったです。こうちょうせんせいが「おいしい。」っていつてくれてうれしかったです。おかあさんにもおしえてあげます。

みやもと ゆの

お家でクッキングをされた保護者の方の感想を紹介します。

☆クッキングに興味があるようで、家でも一緒に料理をする機会をつくろうと思いました。

☆作り方や材料を覚えていて、料理をしてくれました。一生懸命作っている姿は、愛おしかったです。

美味しくできた大根もちをお家の方にも食べてほしいという子ども達の姿が愛おしいですね。



道徳「うんどうぐつ」

道徳で「うんどうぐつ」という話を通して、「よいこととわるいこと」について考えました。「うんどうぐつ」という教材は、「しげたさんが、はやのさんの靴を隠している所を見た“ぼく”が、困っているはやのさんを見て、『しげたさんに靴出してあげなよ。』と言おうとしたけれど、どきどきして言葉がでない。」という話です。子ども達は、「“ぼく”は、しげたさんが怖くて言えないのだと思う。」「怖くても『止めて。』と言ったほうがいい。」と、“ぼく”の立場に共感しながら考えていました。嫌だけれど嫌だと言にくい経験や、言にくいでも「止めて。」と言えた経験を思い出し、どうするべきか、自分はどうなりたいかを考えました。

わたしだったら、「くつを出してあげなよ。」といいますが、いえそうにないときもあります。りゆうは、こわい人にいったら、いいわけをするかもしれないからです。でも、いまは、いおうという気もちです。

わせ田 まひろ

ぼくは、はやのさんがこまっているから先生にいえばいいとおもいます。

ぼくは、いやなことがあったとき、さいしょは、いえなかったけど、いえるようになりました。

しま田 りょうせい

わたしが5さいか4さいのときに、ともだちがずっと「やめて。」といっているのに、やめてあげない子がいたんです。そのときに、わたしは、ゆう気を出して「やめてあげて。」といいました。すごくこわかったけど、いえたのでよかったです。

いまおか り子

わたしは、しげたさんになおしてもらいたいです。なぜなら、なおさないとおとなになってもそのままだからです。「りっぱなおとなになつてよ。いじめは、だめだよ。なおそうよ。」と、わたしは、いいたいです。

よしどめ ひまり

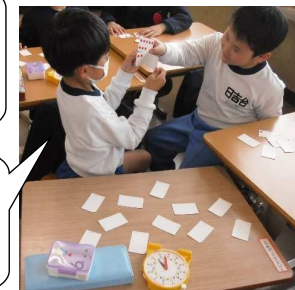


算数的感覚を磨こう



カードが12でサイコロが5だから、12+5・・・十の位が1で一十の位が2+5だから・・・

23と58では、58のほうが大きいね。十の位でくらべたらよいのだね。



「100より大きい数」や「何時何分」の学習をしています。手を動かして具体物を操作したり、ゲーム感覚で友達と遊んだりしながら、算数的感覚を磨いています。これから先の数の学習の基となるのが今の時期です。具体物で確認し、具体がなくても理解できるように、学びをつなげていきたいです。お子さんの様子を見て、算数的感覚の難しさを感じている場合には、具体物での操作を増やしてみてください。